

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2026年 8 月 3 日
【会社名】	株式会社エターナルホスピタリティグループ
【英訳名】	Eternal Hospitality Group Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長ＣＥＯ 大倉 忠司
【本店の所在の場所】	大阪市浪速区立葉一丁目 2 番12号 （同所は登記上の本店所在地で実際の本社業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	06-6206-0808
【事務連絡者氏名】	経営管理部部長 尾本 英俊
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区淡路町四丁目 2 番13号 アーバンネット御堂筋ビル20階
【電話番号】	06-6206-0808
【事務連絡者氏名】	経営管理部部長 尾本 英俊
【縦覧に供する場所】	株式会社エターナルホスピタリティグループ大阪本社 （大阪市中央区淡路町四丁目 2 番13号 アーバンネット御堂筋ビル20階） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号）

1【提出理由】

当社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

関係会社株式の評価減について

(1) 当該事象の発生年月日

2026年7月31日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

2026年6月5日付の「米国中間持株会社（特定子会社）の設立に関するお知らせ」のとおり、当社が保有するTORIKIZOKU USA INC.（以下「TK-US」）の株式を現物出資する方法により、中間持株会社となるETERNAL HOSPITALITY USA INC.の設立を進めてまいりました。今回、現物出資するに際してTK-US株式の再評価を行った結果、実質価額が低下していることからTK-US株式の帳簿価額を876百万円から428百万円に引き下げることとを決議いたしました。

(3) 当該事象の損益に与える影響額

当該事象により、2026年7月期の個別決算において、関係会社株式評価損448百万円を特別損失として計上する見通しであります。

なお、当該関係会社株式評価損は、連結決算においては消去されるため、連結損益への影響はありません。

以 上